
2021年9月期決算参考資料

(2020年10月1日～2021年9月30日)

株式会社ティア
(2021年11月12日公表)

〒462-0841 名古屋市北区黒川本通三丁目 35番地 1

Tel (052)918-8254 / Fax (052)918-8600

証券コード 2485



おかげさまでティアは25周年を迎えました。

創業以来、常にお客様ファーストの視点を持ち、
葬儀費用の価格開示をいち早く行ったファーストカンパニーとして、
これからも業界ナンバーワンを目指し、精進してまいります。

1. 会社概要

会社名	株式会社 ティア
代表取締役社長	富安 徳久
所在地	愛知県名古屋市北区黒川本通三丁目35番地 1
資本金	18億73百万円 (2021年9月末現在)
従業員数	575人 (2021年9月末現在)
事業内容	葬儀請負を中心とした葬祭事業 葬儀会館運営とフランチャイズ事業
発行済株式数	22,406,100株 (2021年9月末現在)
上場市場	東京証券取引所・名古屋証券取引所 市場第一部
関連会社	株式会社 ティアサービス (資本金 17百万円)

2. 当社グループのプロフィール

- ① 当社グループは、「日本で一番『ありがとう』と言われる葬儀社」を目指し、1997年7月に愛知県名古屋市で創業いたしました。直近の業績(2021年9月期)につきましては、売上高で 122億 03百万円、経常利益は 8億 77百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は 5億 42百万円であります。
- ② 2006年6月に名古屋証券取引所セントレックスに株式公開し、2008年9月に名古屋証券取引所市場第二部に上場市場を変更いたしました。また、2013年6月に東京証券取引所市場第二部へ上場し、2014年6月には東京証券取引所、名古屋証券取引所の市場第一部にそれぞれ上場いたしました。
- ③ 当社グループは、顧客満足度の向上を図るために「徹底した人財教育によるサービスの向上」「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。
- ④ 葬儀専用会館「ティア」の展開の状況といたしましては、直営会館を 70店舗、葬儀相談サロンを 10店舗、フランチャイズは事業会社 11社が 54店舗を展開し、これにより会館数は愛知県、岐阜県、三重県、大阪府、和歌山県、埼玉県、神奈川県、茨城県、東京都の 1都 1府 7県に 134店舗 (2021年11月12日現在) となりました。
- ⑤ 2017年5月16日付で、湯灌サービス及びメイク納棺の業務を行う有限会社愛共(現 株式会社ティアサービス)の全株式を取得して子会社化いたしました。

3. 本日の開示について

- ① 本日付で「中期経営計画策定に関するお知らせ」を開示いたしました。中期経営計画にかかる主な内容につきましては、本資料の5ページをご参照ください。
- ② 「2021年9月期決算短信」に記載の2022年9月期業績予想において、2022年9月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等が適用となるため前期との比較分析は行っておりませんが、本資料につきましては前事業年度の連結業績と比較し記載しております。

4. 2021年9月期連結決算の概況

(1) 業績の状況

単位 百万円	2020年 9月期連結	2021年 9月期連結	前年同期比 (%)
売上高	11,919	12,203	2.4
営業利益	595	887	49.1
経常利益	587	877	49.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	345	542	57.0
1株当たり 当期純利益 (円)	15.43	24.21	-

(2) 財政の状況

単位 百万円	2020年 9月期連結	2021年 9月期連結
総資産	13,468	13,539
純資産	8,928	9,022
自己資本比率 (%)	66.3	66.6
1株当たり 純資産 (円)	398.51	402.73

(3) キャッシュ・フローの状況

単位 百万円	2020年 9月期連結	2021年 9月期連結
営業活動によるCF	986	1,370
投資活動によるCF	△742	△688
財務活動によるCF	△149	△879
現金及び現金同等物 期末残高	3,063	2,867

(4) 配当の状況

単位 円	2020年9月期 実績	2021年9月期 実績	2022年9月期 配当予想
第2四半期末	10.00	10.00	10.00
期末	10.00	10.00	10.00
年間配当金	20.00	20.00	20.00
配当金総額 (百万円)	448	448	-
配当性向 (%)	129.6	82.6	104.2

5. 2021年9月期の連結業績について

- ① 2021年9月期の連結業績につきましては前年同期比で増収増益となりました。売上高は2期ぶりの増収となり、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は3期ぶりの増益となりました。
- ② 主な取り組みといたしましては、直営会館を愛知県下に4店舗を開設し、リロケーションにより既存会館1店舗を閉鎖いたしました。フランチャイズでは、愛知県下及び大阪府下にそれぞれ1店舗を開設しております。
また、「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、新型コロナウイルス感染症の予防および拡散防止対策を講じつつ、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業等に取り組んでまいりましたが、第2四半期以降は緊急事態宣言の再発令等により会館イベントの開催等が制限されることとなりました。これにより期末会員数は前期末比3万人増加の44万人となりました。
- ③ 葬儀件数におきましては、既存店の件数が増加したのに加え、新たに開設した会館の稼働により、前年同期比11.0%増の12,599件となりました。葬儀単価におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により葬祭規模が縮小したのに加え、法要料理の販売が減少し、前年同期比7.1%減となりました。
- ④ 葬祭事業の売上高につきましては、葬儀単価は低下したものの葬儀件数が増加し、前年同期比2.4%増収の118億06百万円となりました。また、フランチャイズ事業におきましては、フランチャイズの会館が前年同期と比べ2店舗増加し、これによりF C会館向けの物品売上やロイヤリティ売上が増加し、前年同期比3.2%増収の3億97百万円となりました。
これにより、売上高は前年同期比2.4%増収の122億03百万円となりました。
- ⑤ 売上原価におきましては、労務費等が増加したものの葬儀付帯業務の内製化を推進したことにより前年同期と比べ0.7ポイント低下し、経費面ではTVCMとリアルイベントを連携した営業促進を実施する一方、野立て看板や業務内容の見直し、採用活動の内容変更等の経費削減を推進し、販売費及び一般管理費は前年同期比2.4%減となりました。
- ⑥ 利益におきましては、売上高の増収と経費削減により、営業利益で前年同期比49.1%増益の8億87百万円、経常利益は前年同期比49.4%増益の8億77百万円、親会社株主に帰属する当期純利益では前年同期比57.0%増益の5億42百万円となりました。
- ⑦ 2021年8月12日に、直近の業績の動向等を踏まえ「2021年9月期の通期連結業績予想（以下修正予想）」「通期個別業績予想」を修正いたしました。
売上予想につきましては、葬儀件数が想定を上回って推移する一方、新型コロナウイルス感染症の影響による葬儀単価の低下に改善は見られず、これにより売上高は121億80百万円（前年同期比2.2%増）を予想しておりました。利益におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、経費削減計画の推進により経常利益で8億70百万円（前年同期比48.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益では、4億95百万円（前年同期比43.2%増）を予想しておりました。
これに対し実績は概ね修正予想通りとなり、売上高は修正予想比23百万円の増収、利益におきましては、修正予想比で経常利益は7百万円、親会社株主に帰属する当期純利益では47百万円のそれぞれ増益となりました。

6. 店舗展開の状況

単位 店	2020年 9月期連結	2021年 9月期連結			2022年 9月期連結予想		
	期末 店舗数	出店	閉鎖	期末 店舗数	出店	閉鎖	期末 店舗数
直 営 会 館	64	4	△1	67	7	△1	73
葬 儀 相 談 サ ロ ン	10	-	-	10	-	-	10
フ ラ ン チ ャ イ ズ	53	2	-	55	7	△1	61
全 店 合 計	127	5		132	12		144

- ① 2021年9月期につきましては、直営会館 4店舗を出店する一方、リロケーションにより既存会館 1店舗を閉鎖いたしました。フランチャイズは 2店舗を出店し、これにより期末会館数は直営会館 67店舗、葬儀相談サロン 10店舗、フランチャイズ 55店舗の合計 132店舗となりました。
- ② 2022年9月期につきましては、直営会館 7店舗の出店を計画する一方、リロケーションにより既存会館 1店舗の閉鎖を予定しております。フランチャイズは 7店舗の出店を計画し、既存会館 1店舗を直営会館に切り替えております。これにより、期末会館数は直営会館 73店舗、葬儀相談サロン 10店舗、フランチャイズ 61店舗の合計 144店舗を計画しております。
- ③ 2021年9月期の設備投資は 6億 27百万円となり、2022年9月期の設備投資は 8億 46百万円を計画しております。

7. 2022年9月期連結業績予想について

(1) 連結業績予想

単位 百万円	第2四半期累計期間			通期		
	2021年 9月期連結	2022年 9月期予想	前年同期比 (%)	2021年 9月期連結	2022年 9月期予想	前年同期比 (%)
売 上 高	6,385	6,540	2.4	12,203	12,720	4.2
営 業 利 益	733	475	△35.2	887	730	△17.8
経 常 利 益	723	470	△35.0	877	720	△17.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	489	290	△40.8	542	430	△20.7
1 株 当 た り 当期純利益 (円)	21.87	12.94	-	24.21	19.19	-

(2) 連結業績予想の前提条件

葬祭事業におきましては、既存会館はリロケーションによる会館閉鎖等により前年同期比で概ね横這いを予想する一方、新店の稼働による増収効果を見込んでおります。また、フランチャイズ事業におきましては、新規クライアントの開発を積極的に行うと共に、会館向け物品販売の拡大を図ってまいります。経費面では取扱商品の見直しや、葬儀付帯業務の内製化等の商品原価率の低減を推進する一方で、「新店稼働に伴う固定費の増加」「積極的な人材採用及び賃金制度改定に伴う人件費」「中核エリアのシェア向上にこだわった営業促進の実施」等を見込んでおります。

当社グループは 2022 年 9 月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等が適用となるため、次期の業績予想は当該基準に基づいた金額としております。当該基準の適用により、売上高・利益において 1 億 32 百万円の減収・減益要因と見積もっております。

8. 中期経営計画について

(1) 中期経営計画について

当社グループは会館数 260店舗体制をはじめとする中長期ビジョンを新たに策定しその実現に向けて、中部地区では新規出店の継続により経営基盤の更なる強化を図ると共に、関東地区・関西地区では会館による出店と加速できる体制を整備する局面であると判断しております。

また、直営・フランチャイズによる中長期の出店方針に加え、「外部環境の変化に伴う課題の認識と対応した施策」「内部体制の更なる強化と中長期を見据えた施策」「計画的な人材確保と教育体制の充実により強い組織集団を実現する施策」「倫理コンプライアンス体制の確立に向けた施策」の推進が中長期ビジョンを目指すうえでの必要条件であると考えております。さらに、企業価値を高め、株主共同の利益を確保・向上させる取り組みも必要であると判断しております。

そこで、当社グループといたしましては、「新生ティア」のスローガンのもと、2024年9月期を最終年度とする中期経営計画を策定し、「1. 直営・FC会館の計画的な出店と既存会館の持続的な成長」「2. 中核エリアのシェア向上にこだわった営業促進の実施とマーケティング力の向上」「3. 葬儀付帯業務の内製化拡大と行動力と分析能力を高めたM&A」「4. 計画に則した人材確保・育成と次世代基幹システムの構築」の4項目のテーマを推進してまいります。

計画最終年度となります2024年9月期は、直営会館の葬儀件数 14,352件、売上高 147億円、経常利益 10億円を計画しております。

(2) 数値計画

単位 百万円	2021年 9月期連結	2022年 9月期連結予想	2023年 9月期計画	2024年 9月期計画
葬儀件数（直営・件）	12,599	13,139	13,698	14,352
葬儀単価（直営・千円）	837	842	888	884
売上高	12,203	12,720	14,100	14,720
営業利益	887	730	1,000	1,030
経常利益	877	720	990	1,020
親会社株主に帰属する当期純利益	542	430	590	610

(3) 出店・設備投資計画

単位 店	2021年 9月期連結	2022年 9月期連結予想		2023年 9月期計画		2024年 9月期計画	
	期末	出店	期末	出店	期末	出店	期末
直営会館 (リロケーション・閉鎖)	67	7 △1	73	6 △1	78	7 △1	84
葬儀相談サロン	10	-	10	-	10	-	10
フランチャイズ (リロケーション・閉鎖)	55	7 △1	61	6 -	67	6 -	73
全店合計	132	12	144	11	155	12	167
設備投資(百万円)	627	846		716		805	

(4) 数値計画の前提条件

- ① 数値計画につきましては、2021年9月期の業績動向を勘案し2022年9月期の連結業績予想を策定し、同年を計画初年度として三カ年計画を策定しております。
売上計画におきましては、2022年9月期連結業績予想の前提条件を計画初年度とし、二年目以降は、既存店を業績予想同額としたうえで、新店稼働に伴う増収効果を見込んでおります。
経費見通しにつきましては、2022年9月期連結業績予想の前提条件を計画初年度とし、二年目以降の計画は、既存店を業績予想同額としたうえで、新店稼働に伴う経費の増加及び新卒の採用計画、広告宣伝費の増額等を見込んでおります。
なお、計画初年度には「収益認識に関する会計基準」の適用による影響額を見込んでおります。
- ② 当社グループにおける新型コロナウイルス感染症の影響としましては、葬祭規模の縮小及び法要料理の販売減により葬儀単価が低下し、以降も同水準で推移しております。この影響は、計画初年度となる2022年9月期まで継続し、二年目以降の計画（2023年9月期）はワクチン接種の普及等により改善するものと予想しております。